

使用済みマヨネーズボトル回収実証実験の回収拠点を拡大します!!

川崎市では、プラスチック資源循環に向けて、「かわさきプラスチック循環プロジェクト(愛称:かわプラ)」を設立して様々な事業者と連携した取組を推進しています。

この「かわプラ」の取組として、「味の素株式会社」「キューピー株式会社」「アマタ株式会社」が連携し、使用済みマヨネーズボトル回収の仕組み作りや水平リサイクルを目指し、使用済みマヨネーズボトル回収の実証実験を令和6年7月1日から令和7年6月30日まで実施しているところです。

この度、当該実証実験の期間を延長するとともに、回収拠点を市内1カ所から3カ所に拡大します。

1 実証実験の概要

- (1) 期 間：令和7年7月1日(火)から令和8年6月30日(火)まで
- (2) 場 所：イトーヨーカドー溝ノ口店(川崎市高津区久本3-6-20)
イトーヨーカドー川崎店(川崎市川崎区小田栄2-2-1)※新規拡大
ヨークマート川崎野川店(川崎市宮前区野川本町2-18-19)※新規拡大
- (3) 対 象 物：家庭における使用済みマヨネーズボトル
- (4) 回収方法：①フタとシールをはがす
②水を1/3入れて振って洗う
③ハサミで半分に切り、スポンジで洗う
④乾燥させ、マヨネーズボトルのみを回収ボックスに入れる



回収ボックス

(5) 実証実験の内容

引き続き、回収拠点を拡大しながら洗浄の程度や回収可能量、回収されたボトルの破碎洗浄条件の確認及び再生材を活用したマヨネーズボトルの品質評価を行います。

(6) 実証実験の意義

マヨネーズボトルは、多くの自治体ではプラスチック製容器包装として様々なプラスチック製容器包装と一緒に回収していますが、単一素材で集めることができないことや、油分などの汚れの付着などの課題もあり、飲料ペットボトルに代表されるような水平リサイクル※1の仕組みが実装されていません。

今回、更なるプラスチック資源循環を目指し、企業の枠を超えてマヨネーズボトルを原料として分別回収し、再生材を活用したマヨネーズボトルにリサイクルする実証実験を行うものです。

※1 水平リサイクルとは、限りある資源を有効に使用するため、使用済み製品を原料として循環させ、再び同じ種類の製品を製造することです。

(7) 各企業等の役割

【全体調整、事業計画の作成、回収ボックス準備、広報関係】

- ・味の素株式会社（本社：東京都中央区京橋 1-15-1）
- ・キューピー株式会社（本社：東京都渋谷区渋谷 1-4-13）

【静脈産業と関係機関をつなぎ、再資源化を推進する全体コンサルティング】

- ・アマタ株式会社（本店：東京都千代田区神田駿河台 4-3 12 階）

【回収場所の提供】

- ・イトーヨーカドー溝ノ口店、イトーヨーカドー川崎店、ヨークマート川崎野川店

【かわさきプラスチック循環プロジェクトの取組として全体調整、広報支援】

- ・川崎市

2 かわさきプラスチック循環プロジェクト

川崎市では、プラスチック資源循環に向けて、市民、事業者、行政のあらゆる主体が積極的に取り組むためのプラットフォームとして、「かわさきプラスチック循環プロジェクト」を設立しています。

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000139506.html>



川崎市 HP

3 関連情報

味の素株式会社 ニュースリリース

https://news.ajinomoto.co.jp/2025/06/2025_06_20.pdf

キューピー株式会社 ニュースリリース

https://www.kewpie.com/newsrelease/items/2025/items/pdf/2025/newsrelease_20250620.pdf

アマタ株式会社 ニュースリリース

https://www.amita-hd.co.jp/news/250620_CLOMA.html

株式会社イトーヨーカ堂 ニュースリリース

<https://www.itoyokado.co.jp/company/newsrelease.html>

【問合せ先】

(かわプラに関すること)

川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当:石坂
電 話 044-200-2557 (直通)

【問合せ先】

(実証事業に関すること)

味の素株式会社 グローバルコミュニケーション部
電 話 03-5250-8180
キューピー株式会社 広報部
電 話 03-3486-3051